

『どこへいく？プラスチックごみの真実！』実施レポート

この講座では、実際に愛知県内の海に捨てられていたプラスチックごみやマイクロプラスチックを観察することができます。こうした体験を通して、プラスチックごみ問題を自分事としてとらえ、ごみを減らすための行動を促します。

2024 年 6 月 19 日に刈谷市立亀城小学校の 4 年生の皆さんが受講したときの様子を紹介します。児童やあいち eco ティーチャーから、こんな感想や宣言が寄せられました！



プラスチックのクイズに挑戦

プラスチックがなくなると困ることがわかった。(児童)
ペットボトルは、リサイクルすると洋服などが作れるのが印象に残った。(児童)

あまり海にごみがないと思ったけど、たくさんあったのでびっくりした。(児童)



海ごみを見て、触って観察



海に住む生き物の現状を見る

ごみをすると生き物たちがかわいそうで、すごく困ることが印象に残った。(児童)
人間がポイ捨てして動物を傷つけて命をうばっていることを知った。(児童)

- むだなものを買わない。
- レジ袋をもらわず、マイバックを使う。
- 3R をやりたい。(児童たちの宣言の一部)

児童の皆さんがごみ処理センターへ見学に行った話を取り入れられ、よりよい講座になりました。皆さん元気いっぱい、私たちも楽しかったです。(あいち eco ティーチャー)



今からやります！宣言発表